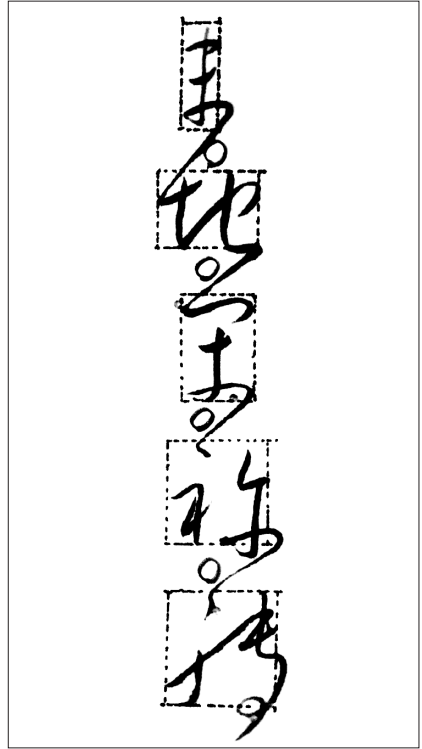


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料420円

秋萩帖

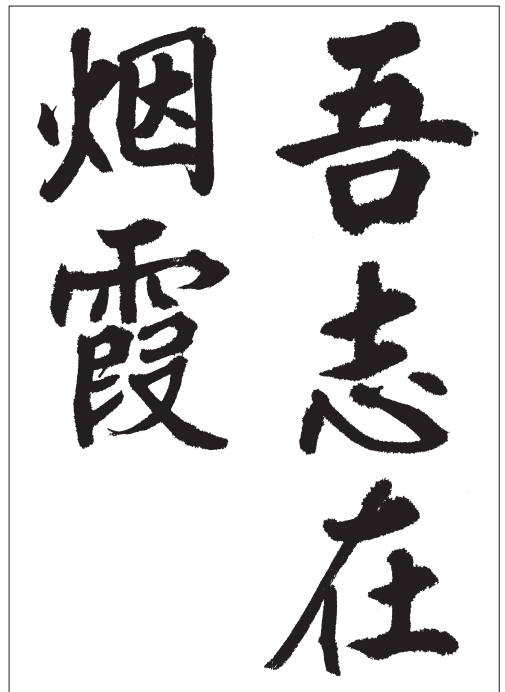


- 1、字句₁ま地閑₂禰轉
- 2、形式₁半紙をたてに使用し、中央に臨書する。落款は左余白に「○○臨」と書き入れる。
- 3、概観₁今月からの六回シリーズの臨書は「秋萩帖」です。「あきはぎの…」の歌で始まる平安時代の書作品で、万葉仮名を草書体にした『草仮名』で書かれています。万葉仮名(漢字)から日本独自の平仮名へ移行していく過渡期ともいうべきこの草仮名の「秋萩帖」は、書道史のみならず、日本語史からも貴重な価値を持つものであると言われています。臨書の解説は、「形臨」を中心に進めていきます。「秋萩帖」の①字形
- 4、各字のポイント
 - ①字形について
 - ・□ たて長の長方形に入れる文字 ああ
 - ・□ ほぼ正方形に入れる文字 地 萩
 - ・連綿線の方向は一定になるように引く。
 - 「ま」から「地」「地」から「あ
 - 「あ」から「萩」「萩」から「あ
 - ②筆づかいについて
 - ・「ま」「地」「あ」「萩」のそれぞれの終画をゆっくり引き、連綿に入る時、やや筆圧をかけて次の画へ向かう。
 - ・終画・連綿線・次の文字の第一画目までを一呼吸として筆を運ぶ。
 - ・特に次の文字の第一画を引いてから休止すること。
- ③その他
 - ・字間をほぼ等間隔となるようにする。(○印)

半 紙 課 題 (予 告) (八月二十二日締切)

平岡華雪先生書

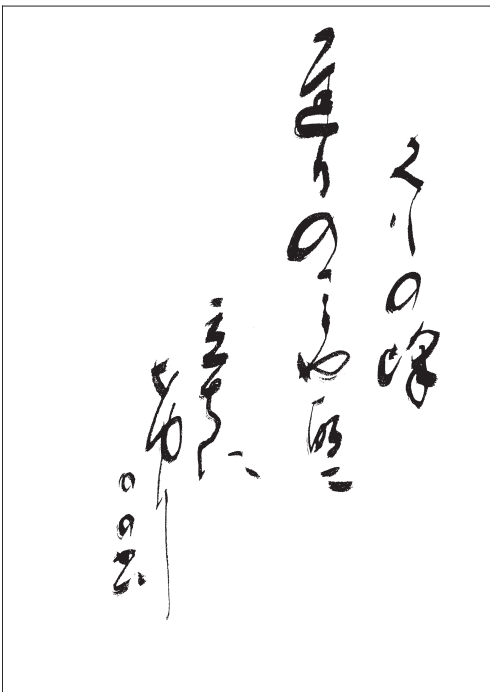
吾が志は煙霞に在り(陳天錫)



訳：吾が意志は山水の景色を楽しむことにある。

平岡華雪先生書

雲の峰塵の都に立ちにけり(虚子)



書画修理の現場から観て

君嶋隆幸
「全国書筵の集い」講師

日本には紙や絹に描かれた書や絵画の文化財が多く残っています。それらは掛軸や巻物、襖や屏風、額や冊子に仕立てられ百年、千年と伝えられて現代の私たちは目にすることができません。紙や絹は乱暴に扱えばすぐに傷ついてしまう素材です。そのような繊細な材料で出来上がっている書画が何百年と伝わるには、人々が大切に伝えようとする気持ちと傷みを直す修理がなければ叶いません。

書や絵画の文化財を修理していると必ず修理の痕跡に出合います。先人の苦勞したところや工夫している箇所が手を伝って理解できます。そのような時、自分が行っている修理も百年後あるいは二百年後の次の修理の時に、遠い昔の修理として未来の修理者に伝わるのかと、百年先の未来に思いを馳せる時があります。人の命よりもはるかに長く続く文化財の生命の、或る期間を受け持つ責任と使命感を実感する時でもありません。

文化財の修理はすべてが手作業で、用いる材料、道具も伝統的な和紙や糊、膠や刷毛、刃物などです。そこには長い年月をかけて積み重ねた様々な工夫と知恵を発見することができます。

これまで修理は裏方の仕事としてあまり表に出ることはありませんでした。この二十年ほどの間に文化財学が盛んになり、修理に対する関心も高まってきていると感じています。今回の話が書画の修理に興味を持っていただけの機会になればと思っています。

第二十二回 全国書筵の集い

今年には日程を変更しての開催となります。今まで参加できなかった方はこの機に是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。最近注目を浴びている修理、修復の専門家による貴重な講演、好評の席上揮毫等充実した集いです。

日時 7月27日(土)

講演会 午前十一時から十二時半 四階 かえで

講師 君嶋隆幸先生

東京学芸大学 書道科卒業 書道専攻科卒業
株式会社 修護 常務取締役

国宝修理装潢師連盟 関東支部筆頭技師長
京都巖峨芸術大学 非常勤講師

懇親会 「書画修理の現場から観て」

午後一時から三時半 三階 おおとり

研究部・推薦合格者の授賞式が行われます。

席上揮毫 高橋香樹 野田麗夕 望月六華 武井春凌

会場 ニューオータニイン東京(2号館)

(JR山手線大崎駅北改札口より東出口方面徒歩2分)

会費 講演 四、〇〇〇円

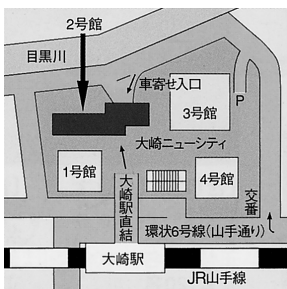
懇親会 一〇、〇〇〇円

郵便振替送金でお願いします。

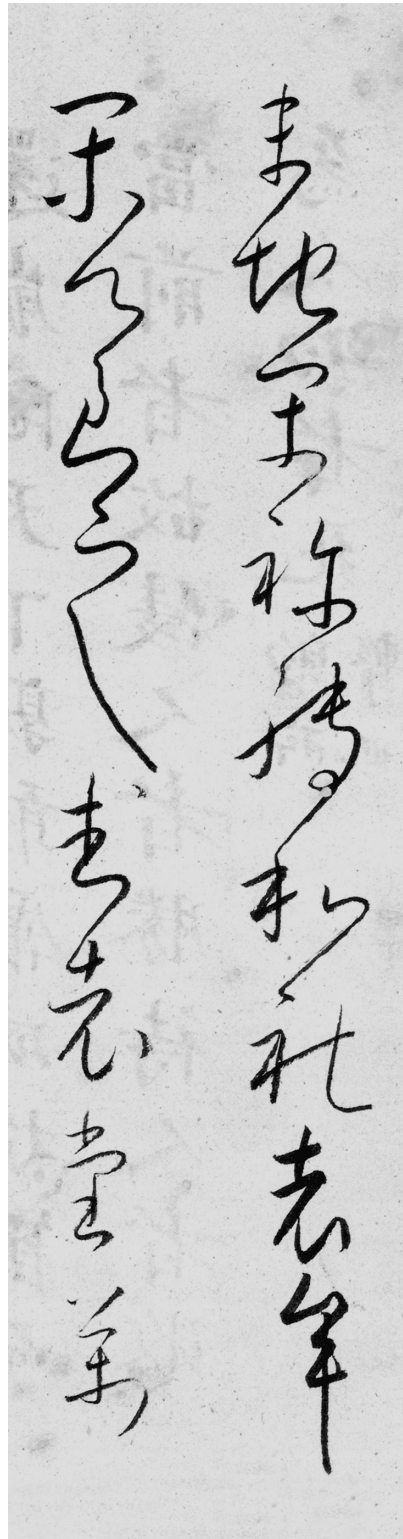
6月3日(月)から

定員になり次第締切ります。

※懇親会場で鈴木静村会長卒寿記念筆(漢字かな交じりに最適)を限定販売します。



秋萩帖



未地閑称轉和礼者牟閑部良之武者堂萬
 まちかねてわれはむかへらしむばたま

まずは大きく臨書してみましょう。

半紙で学んだ「字形」や「筆づかい」を半切でも応用してみてください。

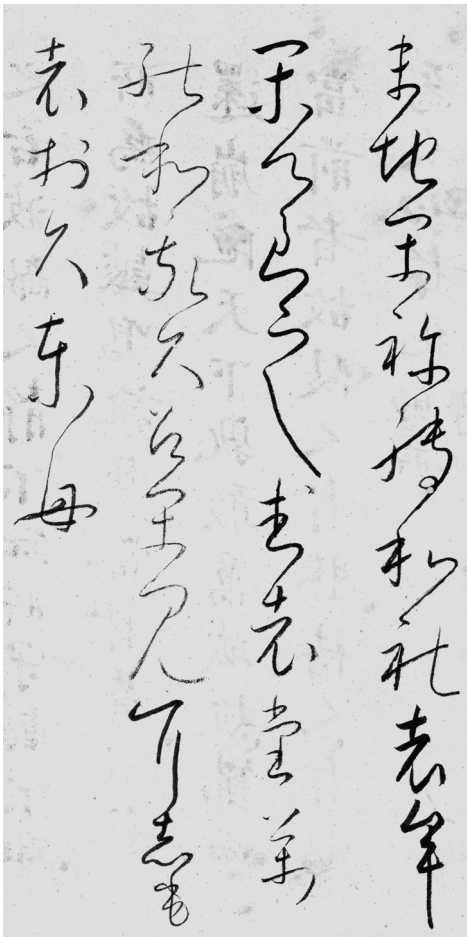
条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。

半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は左余白に「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。

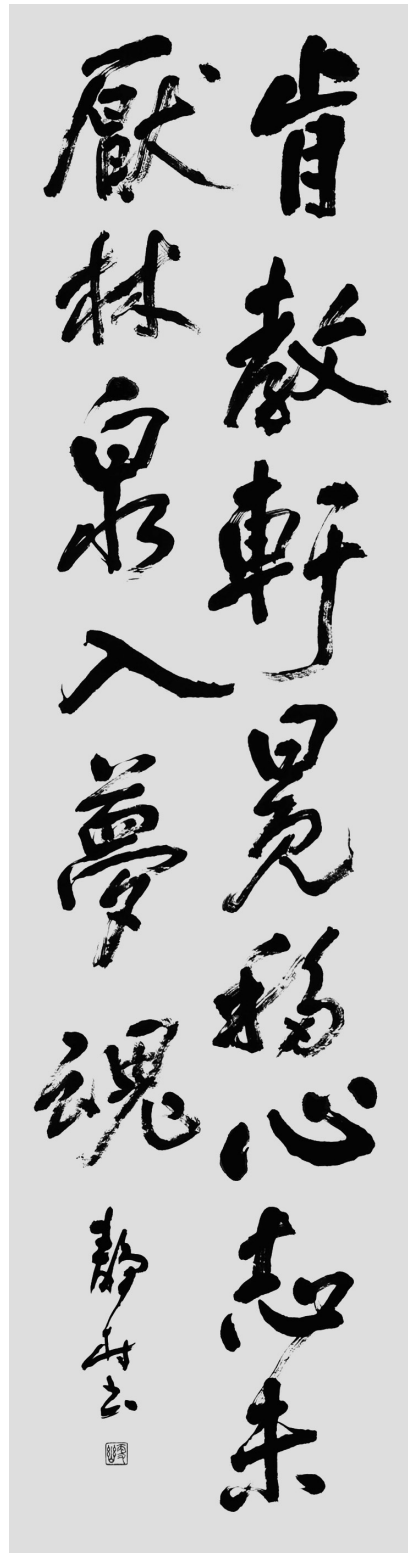
▽出品料五二五円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A 鈴木静村書

肯教軒冕移心志 未厭林泉入夢魂 (高士談)
肯て軒冕をして心志を移さ教めんや、未だ厭かず林泉夢魂に入る。



B

高橋香樹主幹書

墨継ぎの失敗例として、「一行目の「心」(志未を含めて)に注視。これでは単なる形骸もの、形だけに捉われ過ぎた拙例の一つ。どこかホッとさせる表出を打開してほしい。「軒」の末画と「入」の右払いの接觸加減に留意を。「魂」旁の一面目「ノ」は省略されることが多い。



今回は行書のみ、連綿線なしの作を試みました。しかし、実際に書いてみると構成が難しく、流れの表出も思うようにいきませんでした。やはり適宜に草書を入れた方がよかったです。線が遅速・強弱・潤濁にも意を用いて書き進めて戴きたい。墨継ぎは「心」と「泉」。

訳：決して高位高官のために心志を移すことはせぬ。また山林泉石には飽かず夢に入りがちである。軒は大夫以上の乗り物、冕は貴人の冠、転じて高位高官の意。

予告 (八月二十二日締切)

晴日未消千嶂雪 暖風先放一川花 (趙瀕)

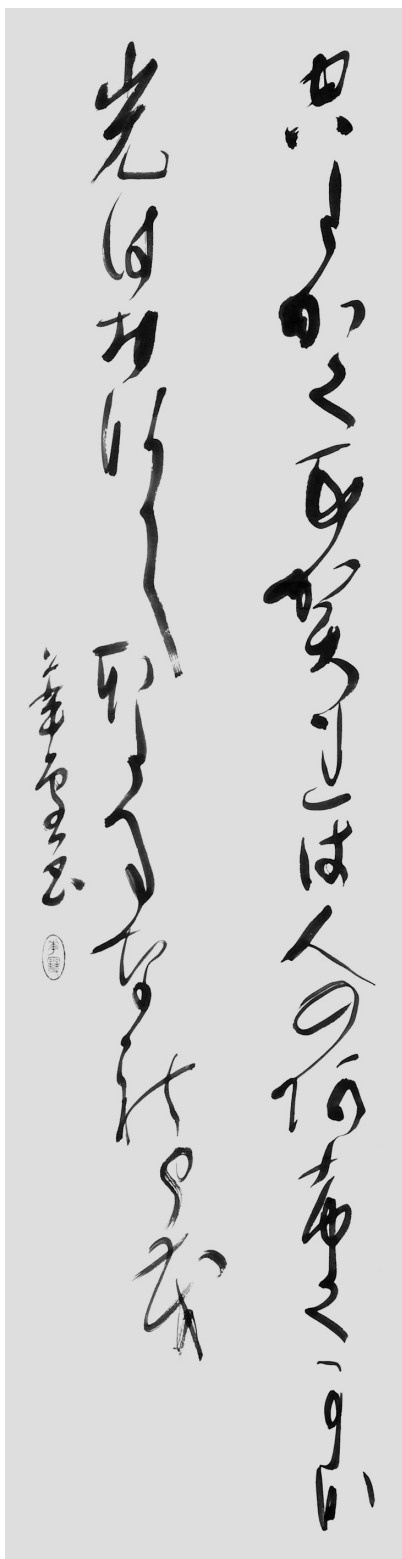
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

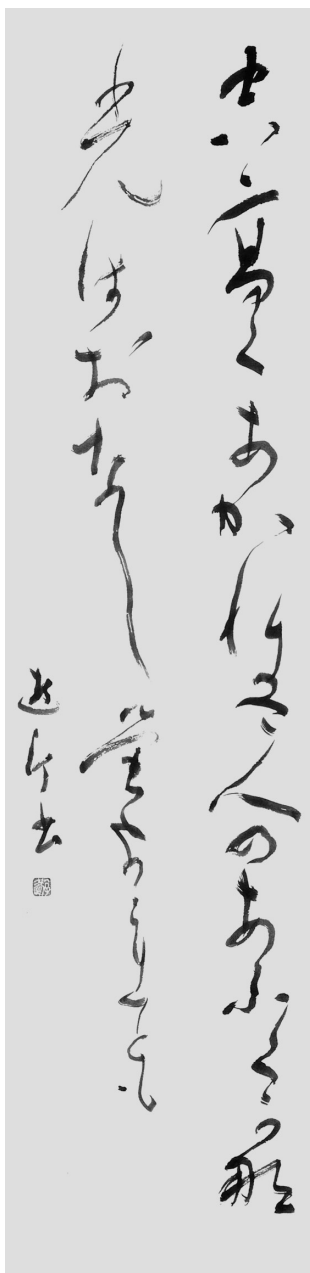
空高くあがれば人のあふぐかな光はおなじほたるなれども (正風)
空多か久あ賀連は人の阿布久可那光はお那し本多るな礼と茂



B

立川遊汀先生書

空高くあかれ盤人のあふぐ可那光はおなし螢奈連とも



学び方

初心にかえって、自然体でゆったり書いた。

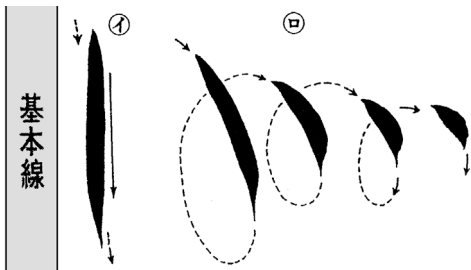
線質について かなの基本線は、胴張。ささ型といわれている。(下図参照)

①矢印の方向から筆鋒が用紙にふれたら、静かに沈ませて下に抜く。(胴張のタテ線が書けました。)

②矢印から入って、点線のように腕をまわして、つづけてだんだん小さく書く。

①・②とも、ささの葉を書くつもりで。線中央部(太いところ)で筆を沈め、徐々に筆を上げて、上下連動でリズムをとりながら書く。直筆で！

・漢字もかなに溶けこむようにかなの線質でかく。



予告 (八月二十二日締切)

深草の露のよすがを契にて里をばかれず秋はきにけり (新古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

星野春陽先生書

夏雨染成千樹綠 暮風散作一江烟（錢惟善）
 夏雨染成す千樹の緑 暮風散じ作す一江の烟。



訳：夏の雨が降ればすぐに多くの木を緑にする。そして夕暮の風が吹くと入江一面の霞となつて散ずる心地がする。

北島菁丘先生書

さざれ波よする文をば青柳の影の糸して織るかとぞ見る（土佐日記 紀貫之）
 さ、れ奈三よ須るあや乎八阿越柳の可介農移としてお流可と曾見る



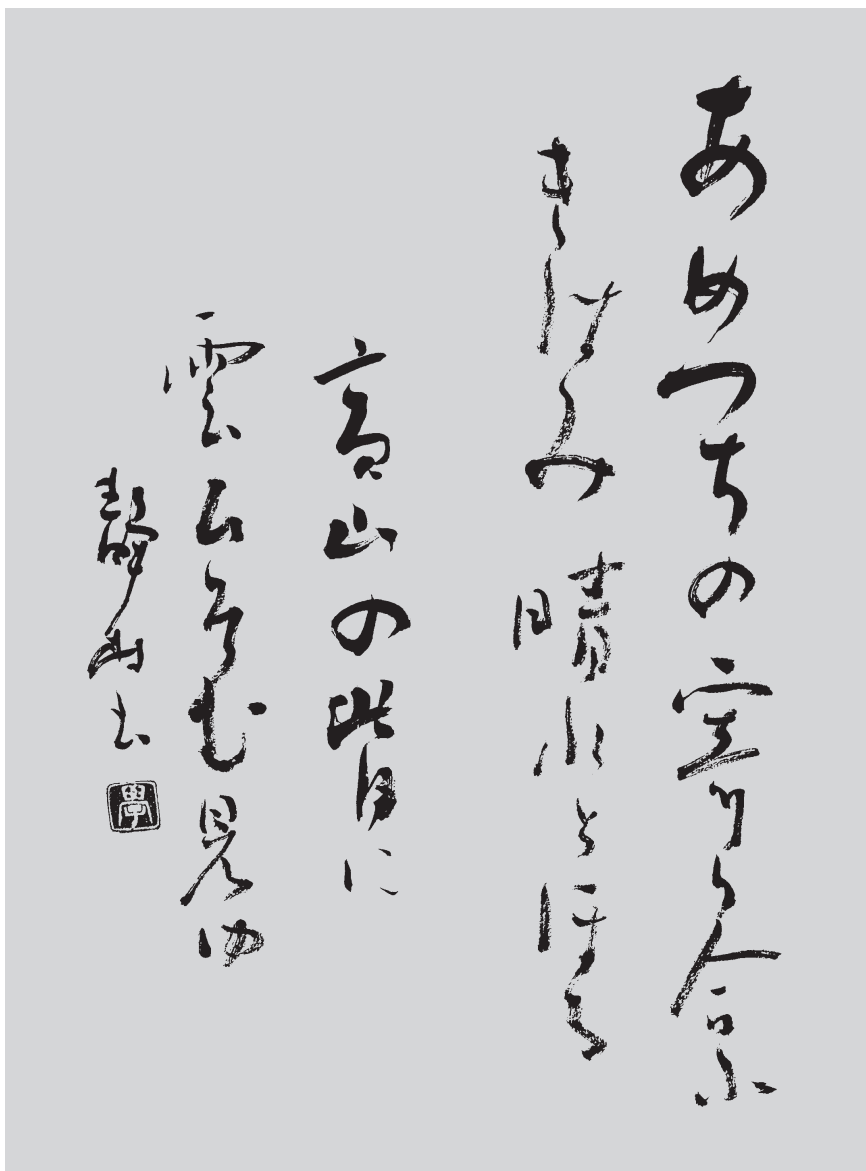
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

あめつちの寄り合ふきはみ晴れとほる
高山の背に雲ひそむ見ゆ

(齋藤茂吉)

天と地が接するあたりは、晴れて澄みわたる現実を
超えた壮大な風景。万葉調のおおらかな歌いぶりで描
こうとしている歌という。



○左右二群に分け、
下の句で墨継ぎ。

○一行目の放ち書き
は、意連を根底に
筆脈に留意。

○二行目は渴筆が多
く平板気味。活筆
線を導入へ一工夫
を。

○左群、「落款」を
含めて「締め」を
ピシッと。

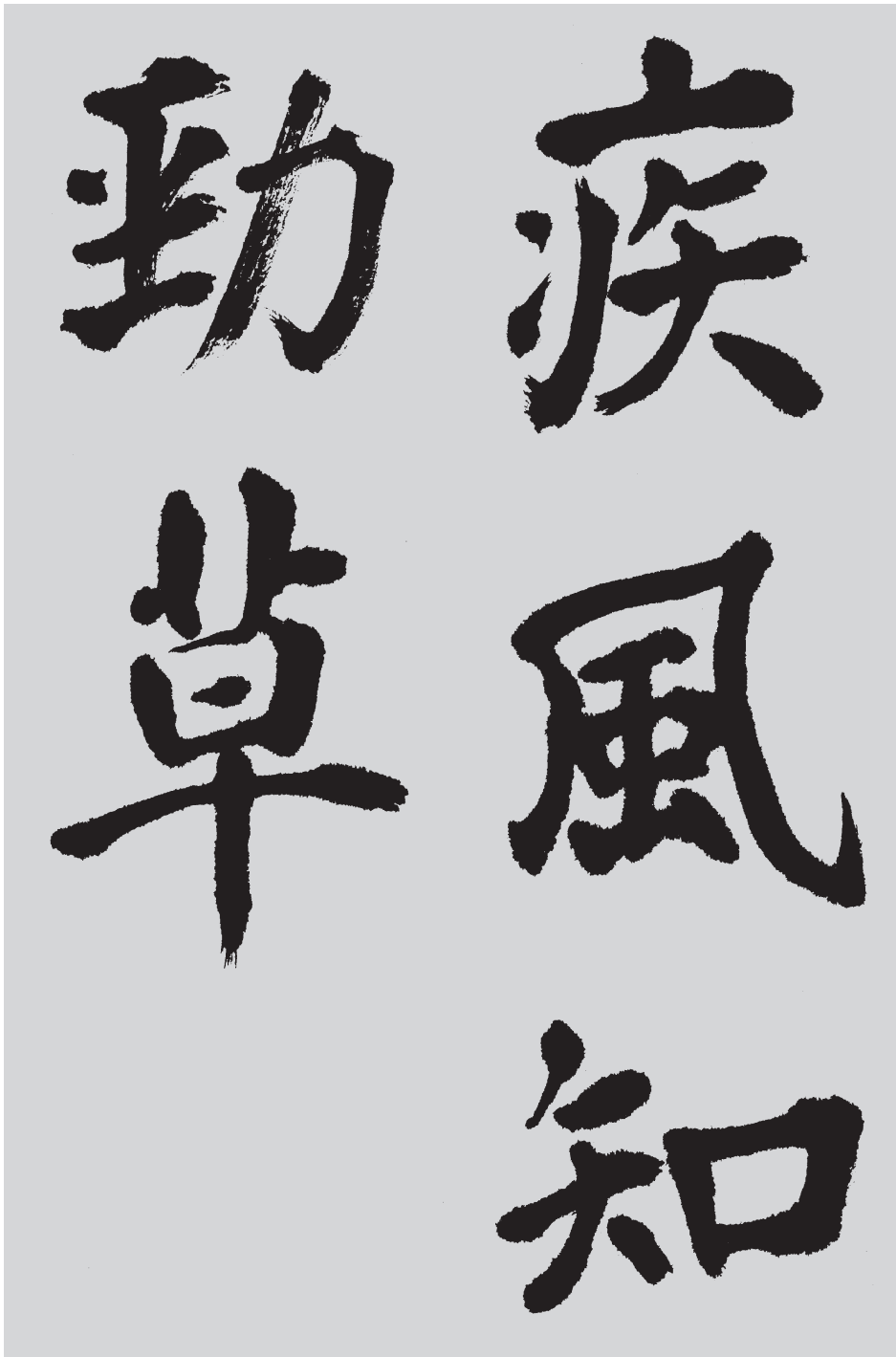
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

疾風に勁草を知る(後漢書)

訳：草の強いが弱いかは、強風が吹いてみるとわかる。
人も然り。(光武帝の語)



〈各文字のポイント〉

疾・病垂れをどっしり。

知・「口」はきりっと締めて。

草・^④筆意はこのように。末画の夕テ画、すっきりと。

^①^②^③
風・風構えをピリッと。
勁・末画、すっぽぬけさせない。

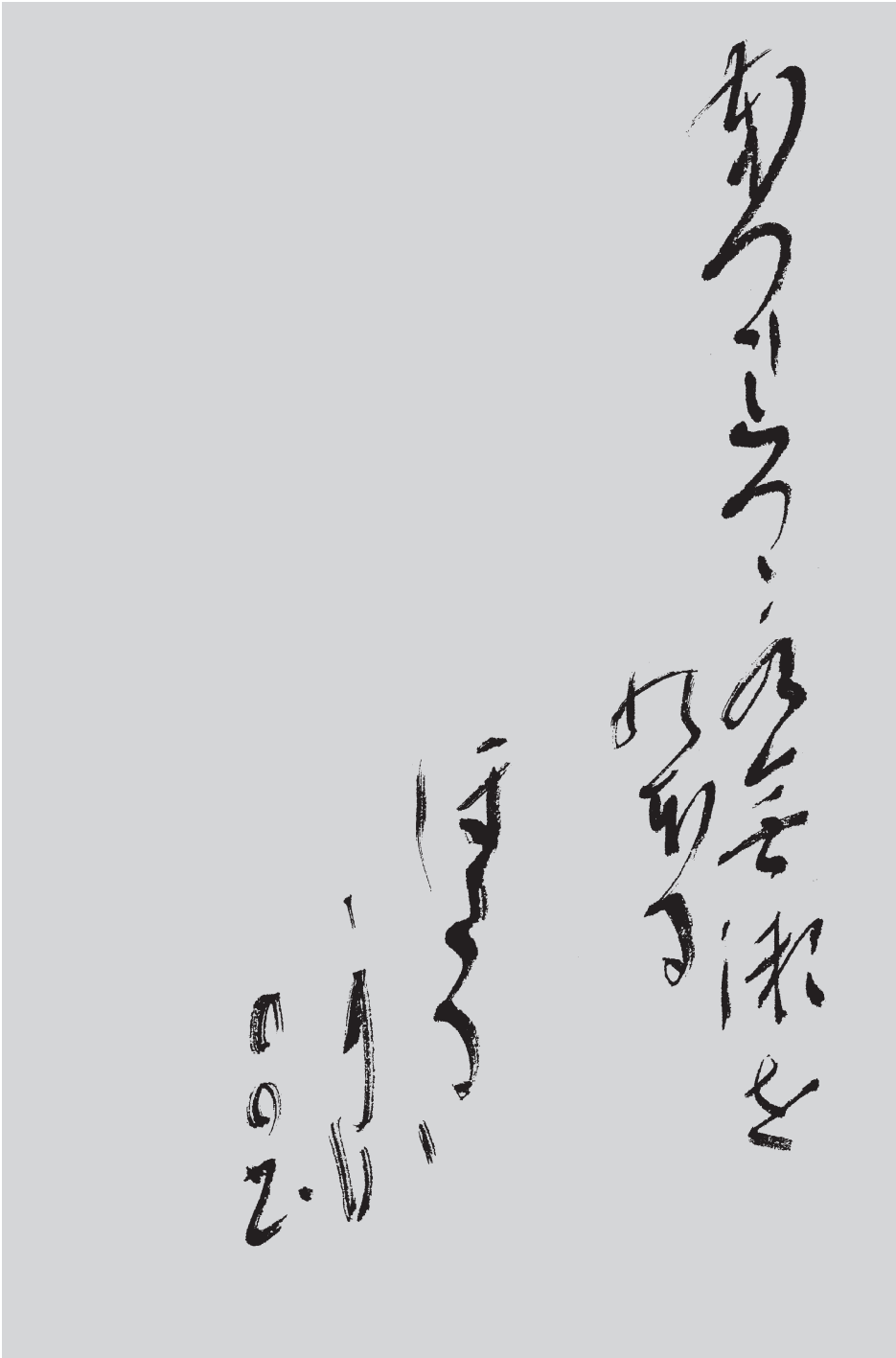
最後に大切なこと 落款

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

もつれつつ水無瀬をのぼる螢かな
もつれ のぼる た かな
 茂つ連つ、水無瀬を能本るほ多る可那
 (樗良)



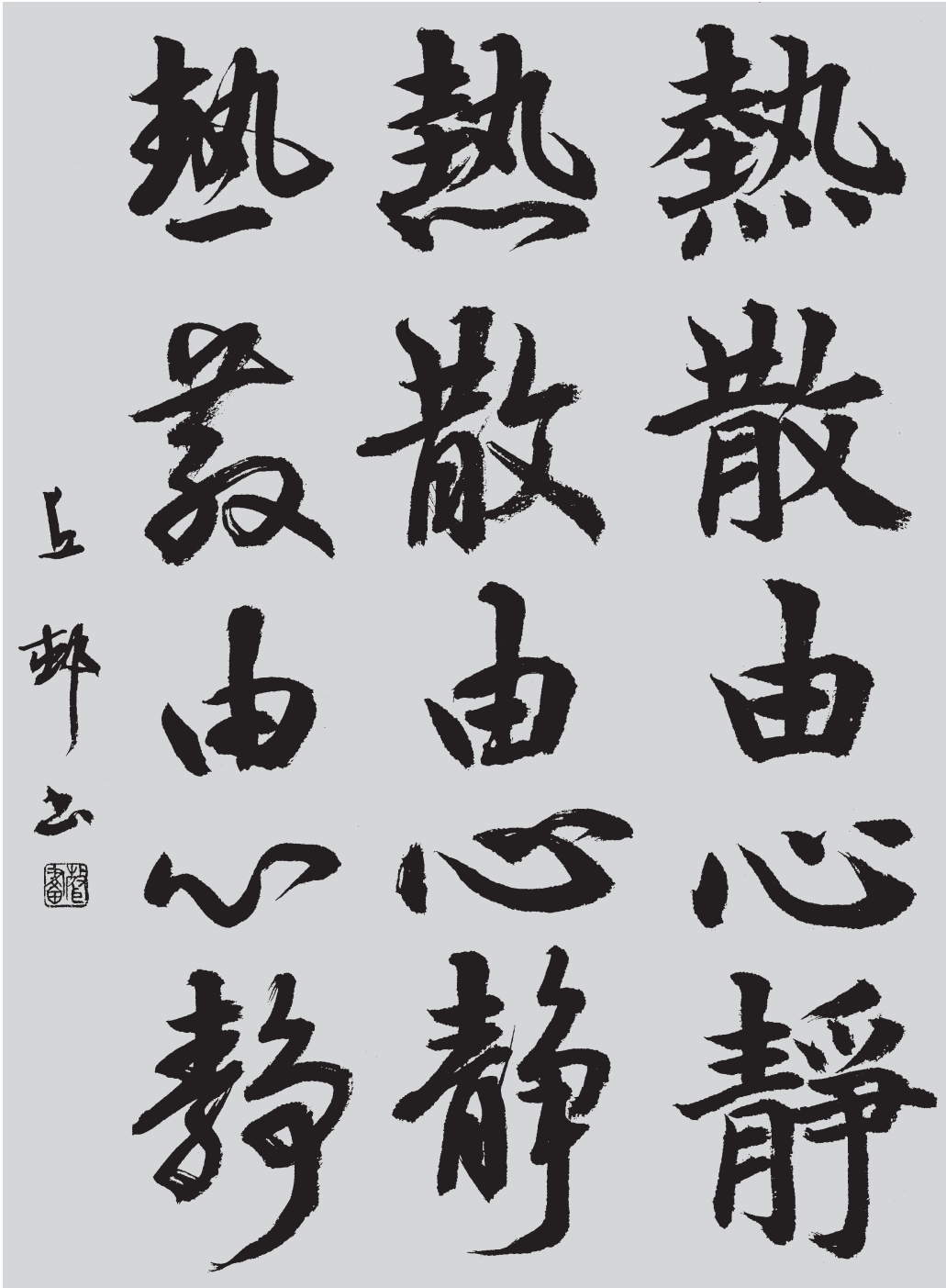
〈よく見て、よく練習！「変体がな」に注意して〉
 鋒先をつっこみ、筆圧を加え、緩め、加速し、また緩めつっこみ、鋒先の踊
 るようなリズムを感じます。連綿の受け、転折、終筆で鋒先がピンと立って線
 が絞られています。次に、変体がなは、事前に、字源・単体の筆意を確実に習
 得してから、連綿練習に入るよう心がけてください。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼っ
 て出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

戸張丘邨先生書

熱散由心靜（白居易）
熱の散ずるは心の静かなるに由る

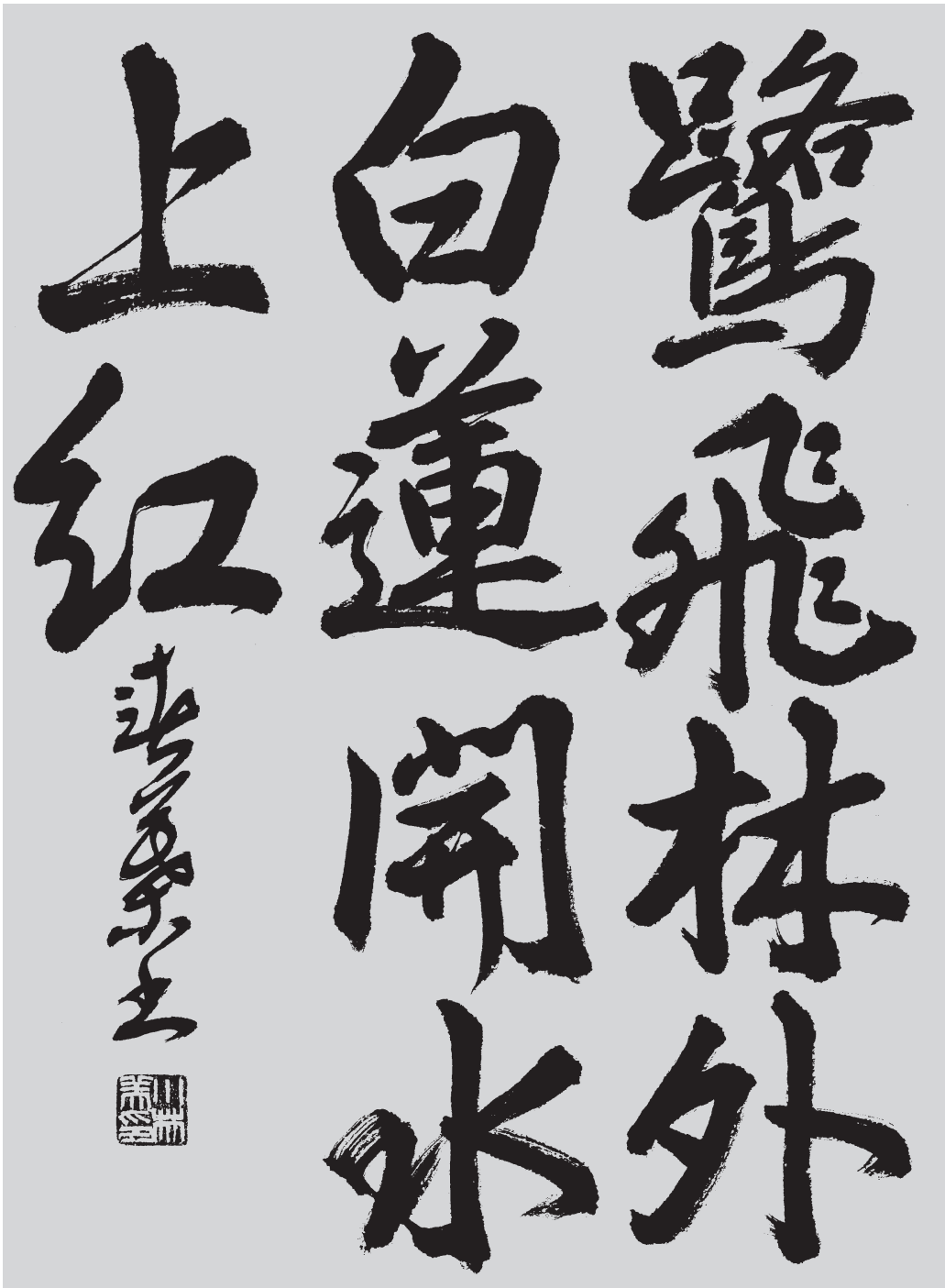


訳：心が静かであれば暑さをも感じない。

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は420円。

小林春葉先生書

鷺飛林外白 蓮開水上紅（武帝）
鷺は林外りんがいに飛んで白く、蓮は水上すいじょうに開いて紅なり。



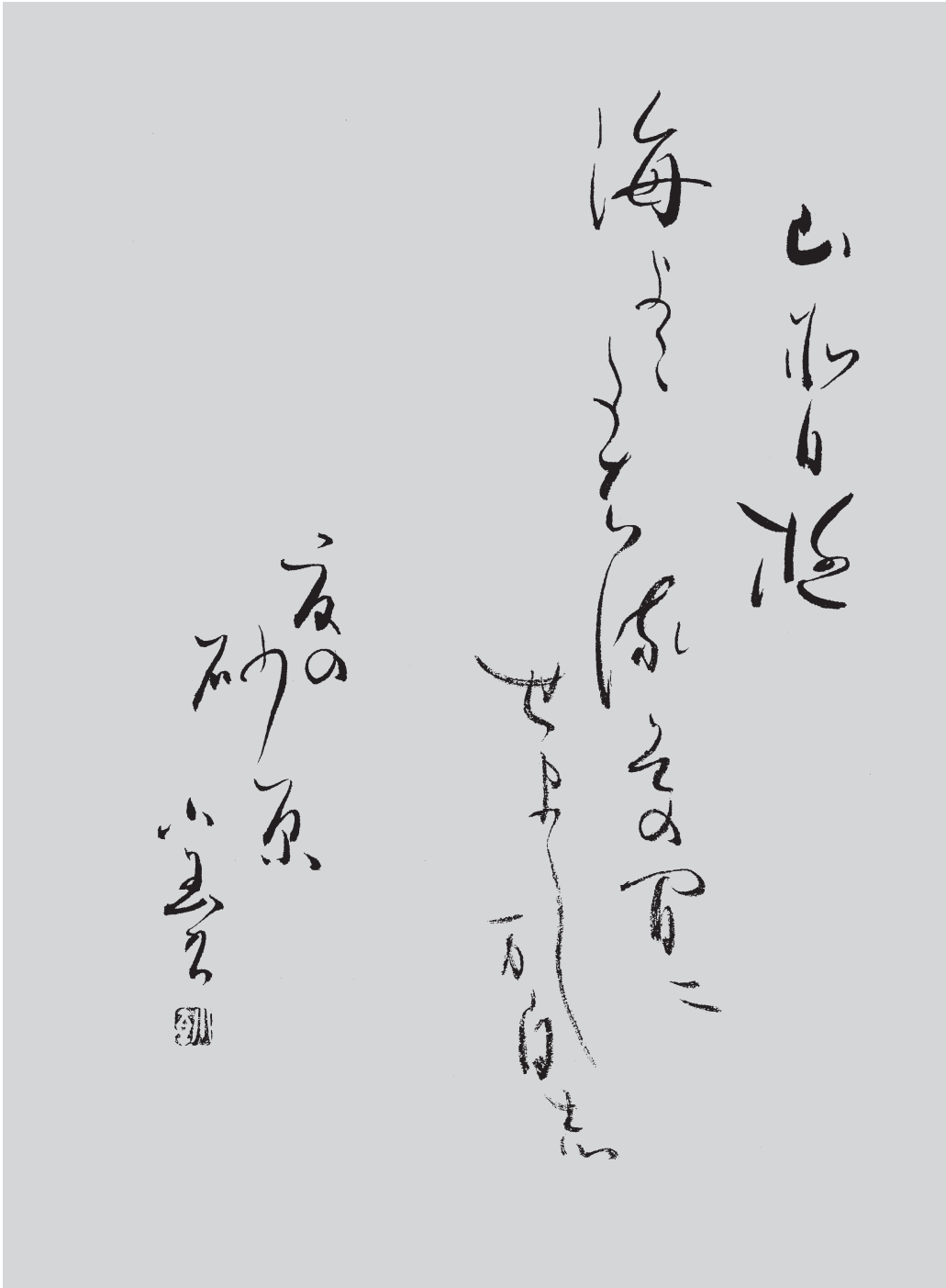
訳：さきは林の外に飛んで白く見え、蓮の花は池水の上に咲いて赤いのが美しい。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

随 意 部 参 考

高山小玉先生書

山^{やま}嶺^{そび}ゆ海^{うみ}よこたはるその間に狭^{あひ}しま白^{せま}し夏^{しろ}の砂^{なつ}原^{すなはら}（若山牧水）
山^{やま}所^{ところ}日^ひ遊^ゆ海^{うみ}よこ多^た者^は流^はるその間^{あひ}二^{せま}せ末^まし万^ま白^{しろ}志^し夏^{なつ}の砂^{すなはら}原^{はら}



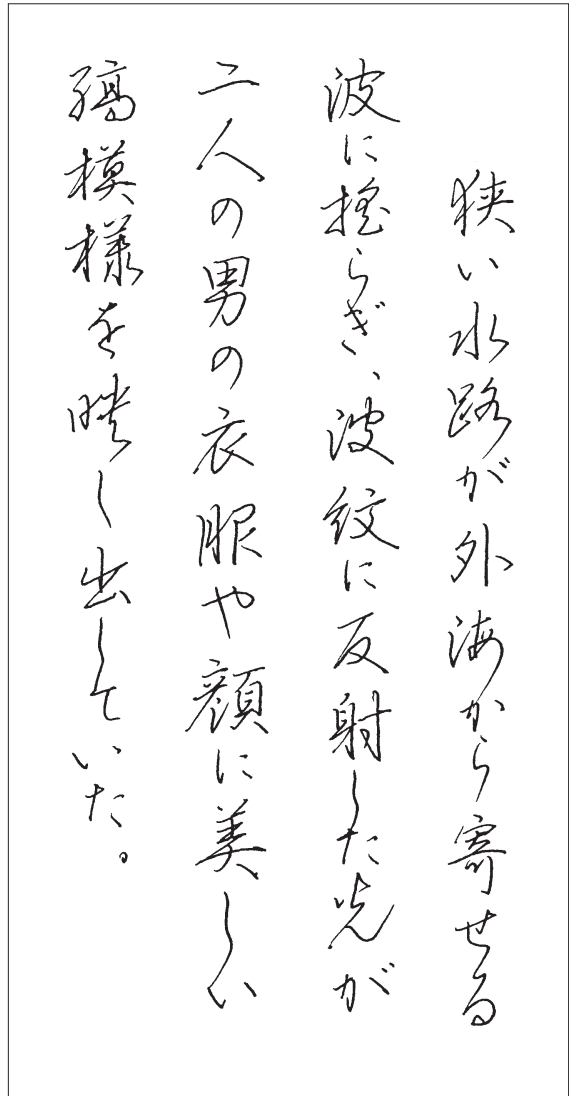
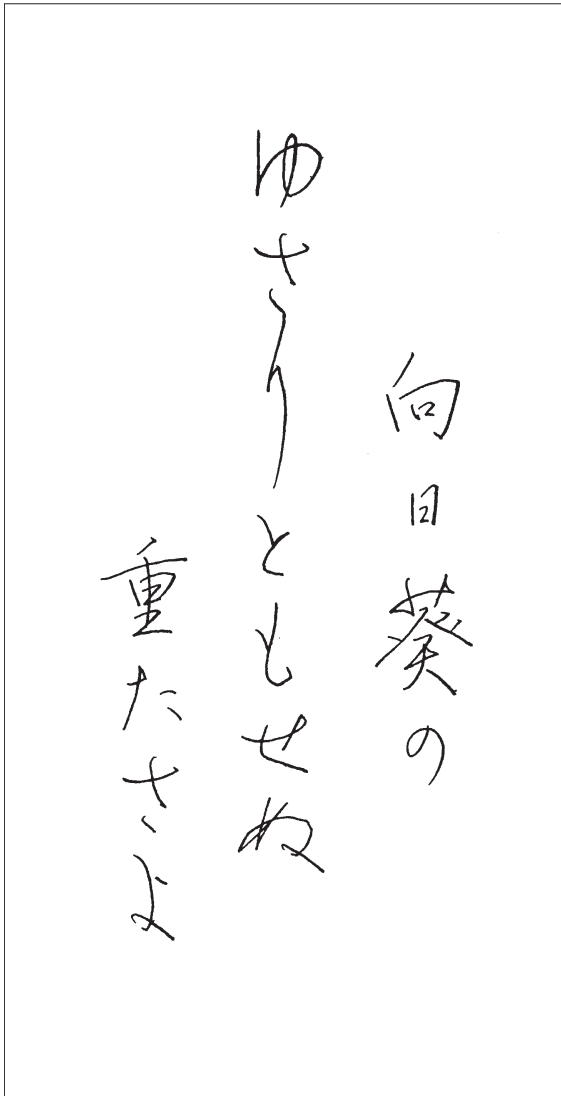
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

狭い水路が外海から寄せる波に揺らぎ、波紋に反射した光が二人の男の衣服や顔に美しい縞模様を映し出していた。

「宙ぶらん」伊集院 静

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四二〇円

課題2 (初段階以下)

向日葵のゆさりとともせぬ重たさよ
北原白秋